SONY

3-858-994-**51** (1)

ラジオカセットコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CFM-A50

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4〜7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

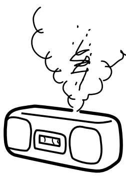
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

1. **電源を切る**
2. **電源プラグをコンセントから抜く**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


接触禁止


ぬれ手禁止

行為を指示する記号


プラグをコンセントから抜く


強制

目次

録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

⚠警告



火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。



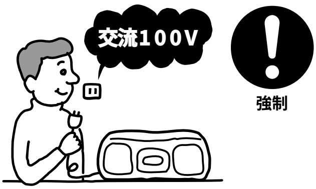
湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。



ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

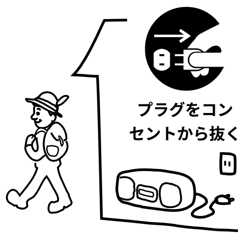
内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
またロッドアンテナ付きの製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、アンテナを折りたたんでください。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



⚠注意 つづき

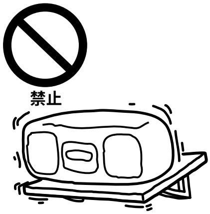
お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。



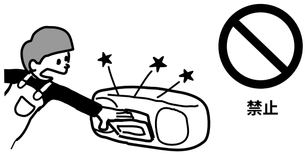
大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



幼児の手の届かない場所に置く

カセットぶたなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。 万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。 分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。 ショートさせない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 水などで濡らさない。 風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

アルカリ電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

- アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。 そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

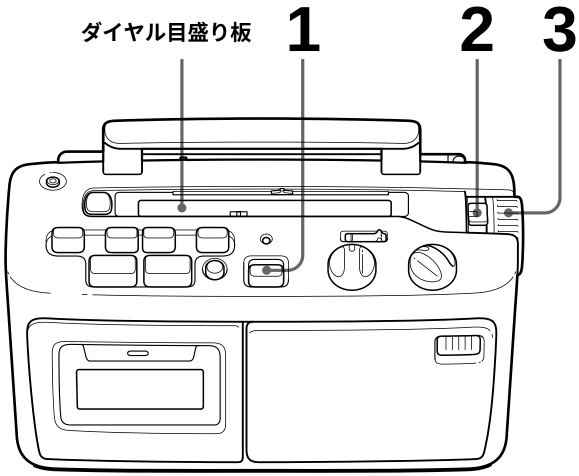
必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。 皮膚の炎症やけがの症状があるときには、医師に相談してください。

⚠注意

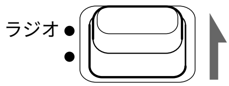
- 使いきった電池は取りはずす。 長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

ラジオを聞く



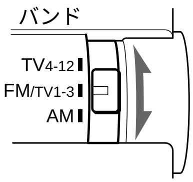
準備➡電源を準備する（15ページ）をご覧ください。

1



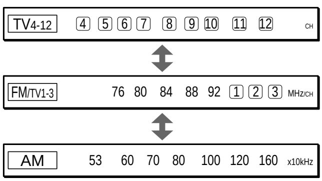
ラジオ/テープ切換スイッチを「ラジオ」に合わせる。

2

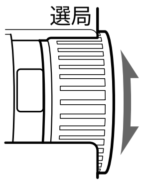


聞きたいバンドを選ぶ。

バンドを選ぶと、ダイヤル目盛り板も切り換わります。



3



聞きたい局に合わせる。

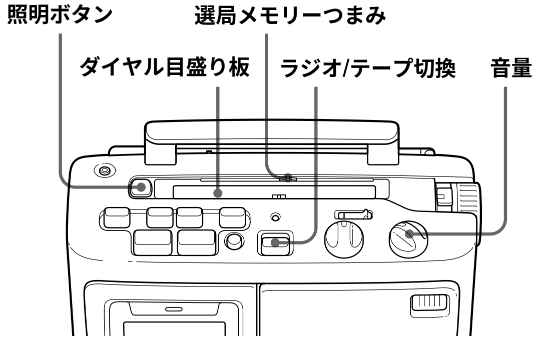
テレビ放送の受信についてのご注意

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

ちょっと一言

・ イヤホンで聞くには、イヤホンを(イヤホン)端子に差し込みます。
・ 本体側面のイヤホンポケットに付属のイヤホンを入れておくことができます。

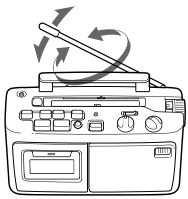
その他の操作



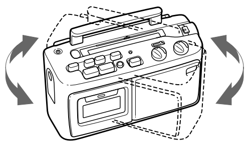
こんなときは	使いかた
音量を調節する	音量つまみを回す
ラジオを消す	ラジオ/テープ切換スイッチを「テープ/ラジオ切」にする

受信状態をよくする

FM/TV放送のとき
アンテナの向きを変える。

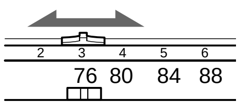


AM放送のとき
本体の向きを変える。



良く聞く局にしるしをつける

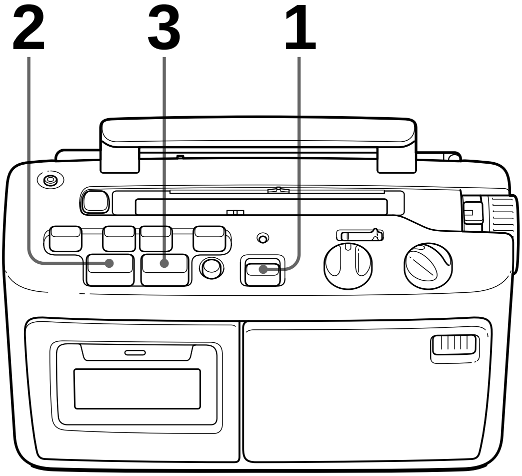
選局メモリーつまみをダイヤル目盛り板のいつも聞く放送局の周波数に合わせておくと、次に同じ局を聞くときに周波数を簡単に合わせることができます。



ダイヤル目盛り板の照明をつける

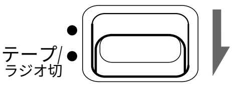
照明ボタンを押します。約7秒間照明がついているので、暗いところで選局するときに便利です。

テープを聞く



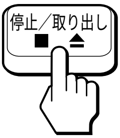
準備➡電源を準備する（15ページ）をご覧ください。

1



ラジオ/テープ切換スイッチを「テープ/ラジオ切」にする。

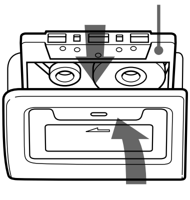
2



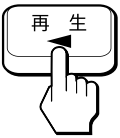
■⏏停止/取り出しボタンを押し、カセットを入れる。

TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。

聞きたい面を手前に



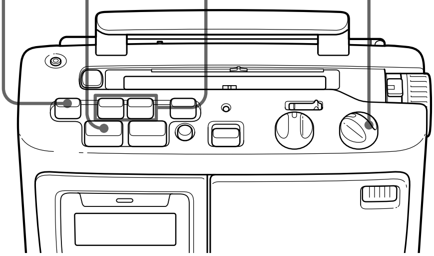
3



◀再生ボタンを押す。

再生が始まります。

その他の操作

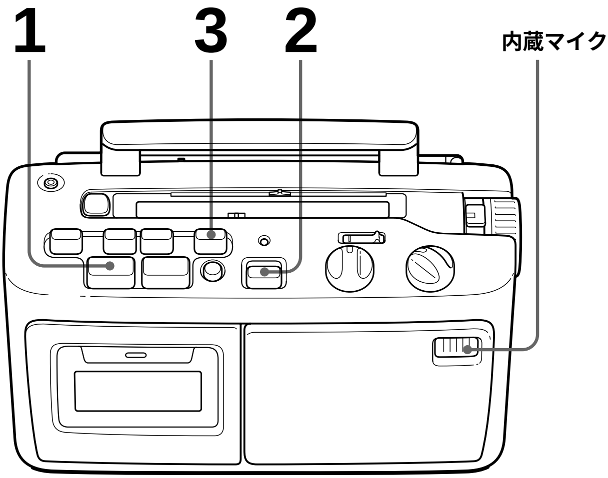


こんなときは	使いかた
音量を調節する	音量つまみを回す
再生を止める	■≜停止/取り出しボタンを押す
早送りや早戻しをする	◀◀早送りまたは▶▶巻き戻しボタンを押す
再生を一時停止する	❚❚一時停止ボタンを押す もう一度押すと再生が始まります
カセットを取り出す	■≜停止/取り出しボタンを押す

ちょっと一言

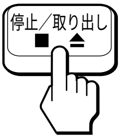
- カセットが入っていると、カセットのふたの穴起部が持ちあがります。手を触れるだけでカセットが入っていることがわかります(凸／テープ入り)。

録音する



準備➡電源を準備する（15ページ）をご覧ください。

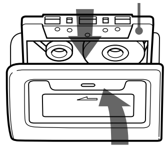
1



■⏏停止/取り出しボタンを押して、録音用カセットを入れる。

TYPEⅠ（ノーマル）テープをお使いください。

録音したい面を手前に



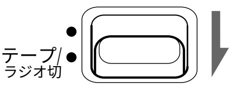
2

録音する音を選ぶ。

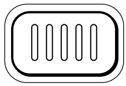
ラジオを録音するとき

録音する局を受信する。（8ページ参照）

内蔵マイクから録音するとき



ラジオ/テープ切換スイッチを「テープ/ラジオ切」に合わせる。



3



● 録音ボタンを押す。

◀再生ボタンが同時に押され、録音が始まります。

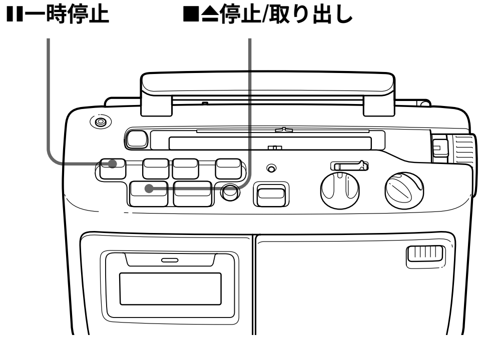
ちょっと一言

- 音量や音質を変えても録音される音は変りません。
- 録音するときは、乾電池ではなく付属の電源コードを使用することをおすすめします。

ご注意

- 録音中に遅聴き再生ボタンを押し込んでも録音は通常の速度で行われます。
- 内蔵マイクから録音しているときは、イヤホンで聞くことはできません。

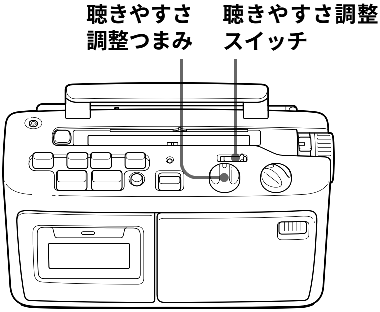
その他の操作



こんなときは	押すボタン
録音を止める	■⏏停止/取り出し
録音を一時停止する	❚❚一時停止 もう1度押すと録音が始まります。

聴きやすい音に調整する

音楽や人の声などの特定の音を強調させて聞くことができます。



1 **テープを再生またはラジオを受信する**

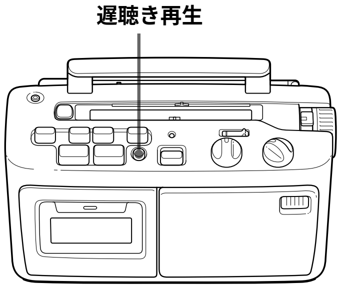
2 **聴きやすさ調整スイッチを「入」にする**

3 **聴きやすさ調整つまみを回して、好みの音質に合わせる**

聴きやすさ調整スイッチを「解除」にすると、通常の音質に戻ります。

テープをゆっくり再生する

テープの再生速度を通常の速度より約15%遅くして聞くことができます。



遅聴き再生するには

テープ再生中、遅聴き再生ボタンを押して、「⊒入」にします。

遅聴き再生を解除するには

遅聴き再生ボタンをもう一度押して、「⊔切」にします。

ご注意

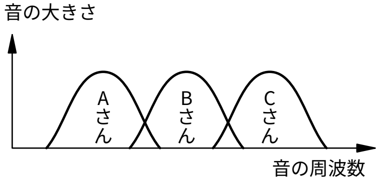
遅聴き再生はテープ以外では使用できません。

聴きやすさ調整について

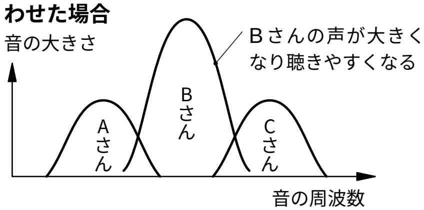
上記の聴きやすさ調整について簡単に説明します。

音には低い音から高い音まで様々な音があります。たとえば、Aさん、Bさん、Cさんの声が入り混じった音があるとき、Bさんの声を聴きやすくしたい場合など特定の部分を強調させることが、この聴きやすさ調整では可能となります。

通常の場合

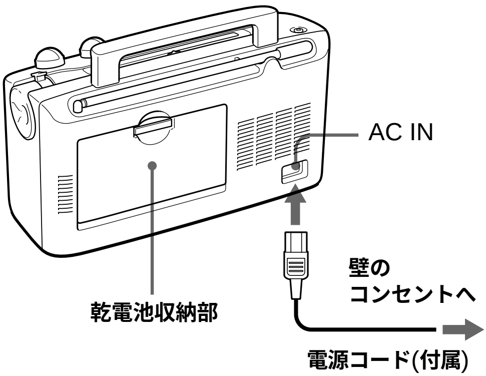


聴きやすさ調整「入」でBさんに調整を合わせた場合



電源を準備する

家庭用電源または、乾電池のいずれかを選んでお使いになれます。
録音するときは、電力消費量が大きいため、家庭用電源でお使いください。

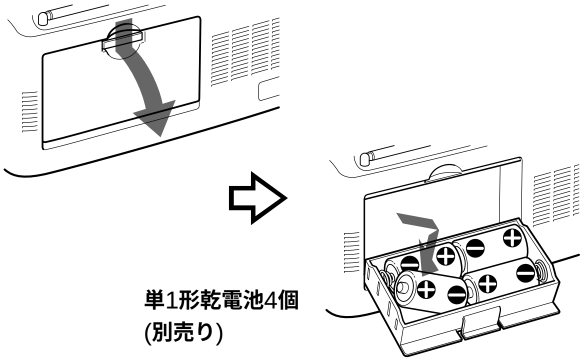


電源コードを接続する

本体のAC IN端子へ差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。

乾電池を入れる

乾電池でお使いになるときは、電源コードは抜いてください。



乾電池の交換について

乾電池のみで使用中、乾電池が消耗してくると電源/電池ランプが暗くなったり、自動的に電源が切れたりします。乾電池を全て新しいものと交換してください。

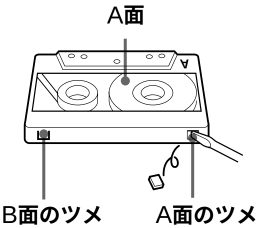
使用上のご注意

取り扱いについて

・ 本機のスピーカーには強力な磁石を使っていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
  ・時計
  ・クレジットカードなどの磁気カード
  ・カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
・ カセットデッキを長い間使わなかったときは、はじめに数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

大切な録音を守るー誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。



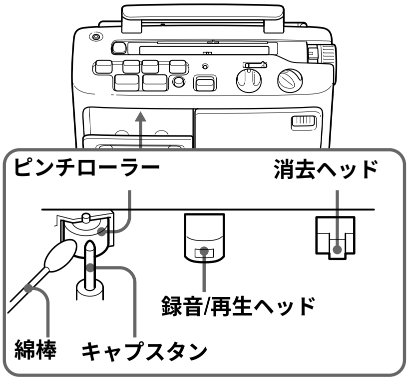
長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こきざみな走行、停止、早送り、早戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

お手入れ

ヘッド部のクリーニング

長い間使っていると、ヘッドが汚れてきて音が悪くなったり、途切れたり、あるいは録音ができなくなったりすることがあります。より良い音で録音、再生を楽しむために、およそ10時間使うごとに別売りのクリーニングキットKK-41を使ってクリーニングすることをおすすめします。市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、図に示したテープが触れる面を軽く拭きます。
カセットはアルコールが完全に乾いてから入れてください。



録音/再生ヘッドの消磁

長い間使っていたり、録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、別売りのヘッドイレーサー・クリーナーHE-6Cを使って録音/再生ヘッドに消磁をしてください。

キャビネットのクリーニング

本体の表面が汚れたときは、柔らかい布でから拭きします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

故障かな?と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。

	症状	チェック項目
共通	音が出ない。	・電源コードをAC IN端子とコンセントにしっかり差し込む。 ・乾電池は⊕⊖を正しく入れる。(15ページ) ・電池が消耗していたら、新しいものと交換する。(15ページ) ・音量を調節する。 ・スピーカーで聞くときは、イヤホンを◎(イヤホン)端子から抜く。
共通	異常音が出る。雑音が多い、音が小さい、音質が良くない。	・電池が消耗していたら、新しいものと交換する。(15ページ)
共通	雑音が入る。	・近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 →携帯電話などを本機から離して使用する。
ラジオ部	雑音が入る。	・テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。 ・このラジオ(チューナー)のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。
ラジオ部	テレビ放送が聞こえない。	・地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。
テープ部	操作ボタンを押してもテープが動かない。	・カセットぶたをきちんと閉める。
テープ部	録音ができない。	・入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。(16ページ)
テープ部	前の録音が完全に消えない。	・消去ヘッドをクリーニングする。(16ページ) ・TYPE II (ハイポジション)、TYPE IV (メタル)テープを使っている。→録音できるテープはTYPE I (ノーマル)のみです。
テープ部	雑音が多い。音質が良くない。	・遅聴きボタンが「ロ入」になっていないか確認する。 ・電池が消耗していたら、新しいものと交換する。(15ページ) ・ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンをクリーニングする。(16ページ) ・ヘッドイレーサー・クリーナーを使ってヘッドを消磁する。(16ページ)
テープ部	音が歪む。	・TYPE II (ハイポジション)またはTYPE IV (メタル)テープはお使いになれません。TYPE I (ノーマル)テープをお使いください。

主な仕様

受信周波数	TV:4ー12ch FM/TV:76ー108MHz （1～3ch） AM:530ー1,629kHz
アンテナ	FM/TV:ロッドアンテナ AM:フェライトバーアンテナ

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

トラック方式	2トラック1チャンネル モノラル
スピーカー	フルレンジ：9.2cm、コーン型4Ω、1個
早巻き時間	約2分（ソニーカセットテープC-60 使用）
周波数範囲	TYPE I（ノーマル）カセット 100ー8,000Hz（JEITA）
出力端子	◎（イヤホン）端子（ミニジャック）1個 負荷インピーダンス　32Ω
実用最大出力	2.3W（JEITA*）

電池持続時間

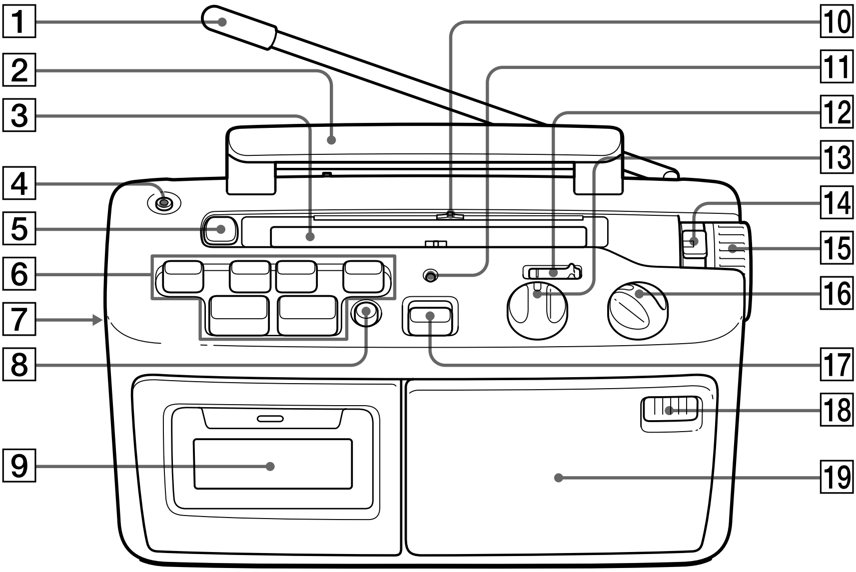
使用乾電池 / 測定条件	ソニーニュースーパー R20P	ソニーアルカリ LR20
テープ再生時**（JEITA）	約7時間	約20時間
FM録音時（JEITA）	約13時間	約35時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。**音量4分目程度

電源	家庭用電源（AC100V 50/60Hz） 単1形乾電池4個使用 （DC6V）
消費電力	AC 9W
最大外形寸法	289 x 200 x 123 mm （幅 x 高さ x 奥行き） （最大突起部含む） （JEITA*）
質量	本体　約2 kg ご使用時　約2.4 kg （乾電池、テープ含む）
付属品	電源コード（1） イヤホン（1） ソニーご相談窓口のご案内（1） 保証書（1）
別売りアクセサリー	ヘッドイレーサー・クリーナー HE-6C クリーニングキット KK-41

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ



1 FM/TV用ロッドアンテナ(9)（エフエム テレビ）
2 把手
3 ダイヤル目盛り板(8、9)
4 ⊚(イヤホン)端子(ミニジャック)(9)
5 照明ボタン(9)
6 テープ操作ボタン(10、11)
7 イヤホンポケット(9)
8 遅聴き再生ボタン(14)
9 カセットぶた(11)

10 選局メモリーつまみ(9)
11 電源/電池ランプ(15)
12 聴きやすさ調整スイッチ(14)
13 聴きやすさ調整つまみ(14)
14 バンドスイッチ(8)
15 選局つまみ(8)
16 音量つまみ(9、11)
17 ラジオ/テープ切換スイッチ(8、10、12)
18 内蔵マイク(12)
19 スピーカー

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオカセットコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311

● Fax ………………………… 0466-31-2595

受付時間：月〜金 9:00〜20:00、土・日・祝日 9:00〜17:00

http://www.sony.co.jp

Printed in China

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ、ナ行

ハ行

マ、ヤ、ラ、ワ行